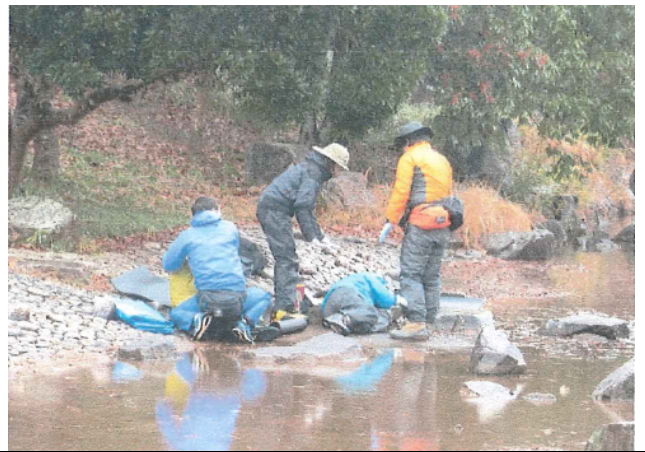


平成 26 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人 体験学習ネットワーク
活動テーマ	災害発生時にも対応できる、野外救急法（WFA）を実践的に学ぶ講習の開催



自然災害発生時には、地域に拠点を置く自然学校や野外教育施設に所属する人員や、ボーイスカウト等の野外活動指導者は救助及び救急活動の貴重な要員になります。これらの人材に野外環境下で対応できる救急法について学ぶ機会を提供することにより、災害発生の初動における救急活動の質を向上すると考えました。そのために、アメリカに拠点を置く、ウィルダネス・メディカル・アソシエイツが提供する野外環境下での救急法を重視して構成されたライセンスカリキュラムを中心に講習会を開催しました。講習会は、施設職員等の一般が参加し易い「基礎講習（ベーシック）」と、指導者など積極的な救護活動が望めるものを対象にした「実践講習（アドバンス）」の2つの講習を開催し、より多くの方々が野外環境下での救急法について学べ、災害時の要員として意識を持てるようにしました。

「基礎講習」は、4月26日（土）、27日（日）で実施し、計画では日帰り2日間であったものを1泊2日として開催しました。また、「実践講習」は、12月13日（土）～16日（火）の3泊4日間で実施しました。両講習とも室内での講義のほか、野外での救急活動等を演習として行い、より現場に近い状況での学びを展開しました。また、最終日に効果測定を行い、WMAの基準を満たしたものには、ライセンスを発行しました。

「基礎講習」には近畿を中心に受講があり、「実践講習」では西日本を中心に北は新潟から南は屋久島までの受講者を得て実施できました。これにより、受講者が所属する施設や地域に戻ることに伴い、受講者を軸とした人材のネットワークが広がるとともに、災害発生時に対応できる人的環境も整えられるとする2つ目の目的も達成されると考えています。

（写真左上：夜間屋外での救助、左下：裂傷への対応、右上：雨天下での遭難者救助、右下：実践講習終了）